

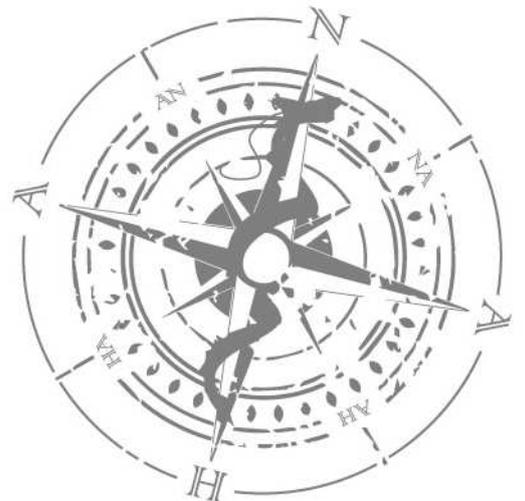
# NAHA City Design Compass

みんなで継承

みんなで作る

亜熱帯庭園都市なはの景観

那覇市サインデザインマニュアル





# 目次

那覇市の景観ビジョン	1
デザインマニュアルシリーズについて	2
序章	3
■ サインデザインマニュアルの目的	
■ Sign(サイン)としての屋外広告物	
■ 屋外広告物とは	
■ 屋外広告物制度	
屋外広告物の安全性確保と維持管理	6
より良い広告物とするために	8

## 種別デザインマニュアル

1. 屋上広告	16
2. 壁面広告	18
【広告物コラム：屋内から景観へのおもいやり】	
3. 突出広告	24
4. 野立広告	26
5. その他広告	28
活用編	29
■ 賑わいを演出する	
■ 素材を活かす	
【広告物コラム：店前や通りの魅力づくり】	



# 那覇市の景観ビジョン

—まちづくりの基本理念—

**なはが好き！**

**みんなで創ろう子どもの笑顔が輝くまち**

～亜熱帯の自然と文化が息づく、自治・協働・平和都市をめざして～

「第4次那覇市総合計画」より



—景観づくりの理念—

めざす  
景観

**みんなで継承、みんなで作る  
「亜熱帯庭園都市」なはの景観**

「那覇市景観計画」より



この理念の実現に向け、以下5つの基本目標をかかげています。

1. 固有の風土(亜熱帯固有の水・緑・微地形変化など)をいかした景観をつくる
2. 固有の歴史・文化(王都)を守り、いかす景観をつくる
3. 国際的な交流・交易、観光都市機能を持つ県都として風格のある景観をつくる
4. 地域の資源や生活文化などをいかした景観をつくる
5. 市民との協働による景観づくりの活動を広げる

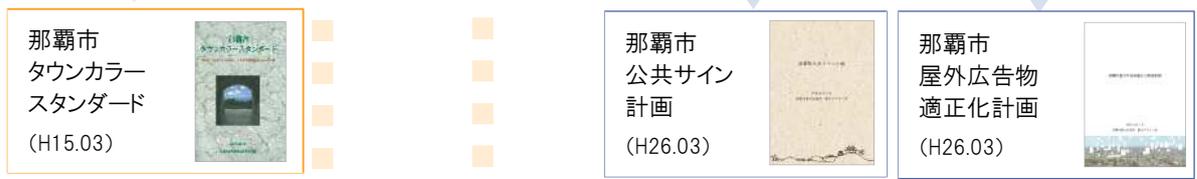
# デザインマニュアルの体系について

本デザインマニュアルシリーズは、法や条例などの基準・ルールを基に、建築やサイン、公共の構造物の分野において、周辺景観と調和のとれた整備事例や目指すデザインのあり方を示したものです。建築やサイン、公共の構造物などの新築・新設・改修時に、よりよい発想と創意工夫へのヒントとして活用してください。

基準・ルール



目指すべき方向性



事例集



## 那覇市デザインマニュアルシリーズ

デザインマニュアルシリーズの連携による  
“「亜熱帯庭園都市」なはの景観“を創出



# 序章

## ■サインデザインマニュアルの目的

屋外広告物は、私たちに様々な情報を伝えるための手段の1つであり、通りを歩く人が意識する・しないに関わらず、自然と目に映るものです。時に目立つ形状や色、大きさになる傾向がありますが、屋外広告物はまちの印象やイメージに大きな影響を与える要素でもあることから、本来の情報提供機能とともに、那覇の「風格ある県都」としての景観に調和させる心がけが大切です。また、見る人にとっても伝わりやすく心地いいと感じさせる屋外広告物であることも重要です。

本マニュアルは、平成3年に作成した「サインデザインマニュアル」を改定したもので、屋外広告物を設置する際、広告主、広告事業者、行政はもちろんのこと、設計者や市民のみなさまが、那覇らしい屋外広告物のあり方について、それぞれの立場から広告景観の向上を図ることを目的にしたものです。



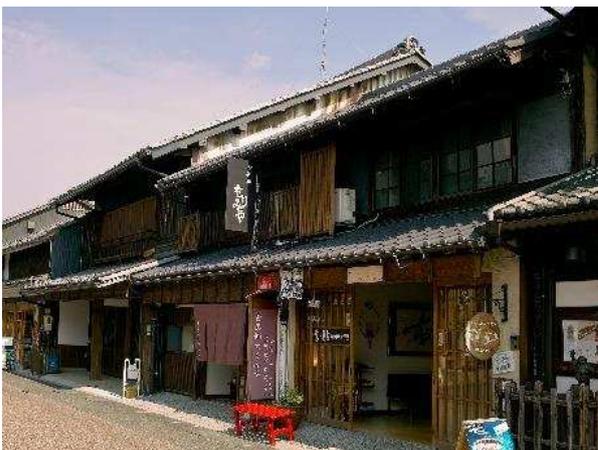
サインデザインマニュアル  
(平成3年)

## ■サイン(Sign)としての屋外広告物

「サイン(Sign)」とは、「符号、記号、象徴、印、信号、合図、身振り、広告、兆し」などを意味し、「告知の機能を持った情報」という概念を表すことばです。広義的には人為的なものだけでなく、自然現象なども含めた「人が感じ取れる情報を発しているもの」すべてが「サイン」であるといえます。



## 【サイン(屋外広告物)がつくる街並み】



周辺の景観に合った色合いや素材の広告物から、歴史的な風情が感じられる

屋外広告物も告知の機能を持ったサインの一種であり、屋外広告物を通して様々な情報を得ることが出来ます。それだけではなく、屋外に掲示されることによって、まちや通りの雰囲気をつくっている重要な景観要素ともなっています。広告物が周辺環境へ与える影響を理解し、地域や通りの景観に調和した広告物は、見る人から好意的に受け入れられ、より効果的な広告となります。また、良好な街並みづくりに貢献するとともに、地域の個性と魅力の向上に繋がります。

## ■屋外広告物とは

本サインデザインマニュアルにおける屋外広告物とは、以下の4つの条件を満たすもので、具体的には、看板や広告塔、ポスターなどだけではなく、建築物の壁面等に直接表示するものも含まれます。

### ▼屋外広告物の定義

- ①常時または一定の期間継続して表示されるものであること
- ②屋外で表示されるものであること
- ③公衆に表示されるものであること
- ④看板、立看板、はり紙、はり札、広告塔、広告板、建物その他の工作物等に掲出され、又は表示されたもの

### ▼屋外広告物の種類

まちなかには様々な種類の屋外広告物が掲示されています。周辺環境との調和や、情報を伝えたい対象、情報量に合った効果的な広告物の種類を選択しましょう。

#### 屋上広告



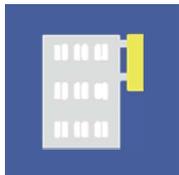
建築物の屋上や屋上部分の壁面、建築物の最上階のひさしの上などに表示、または設置するもの

#### 壁面広告



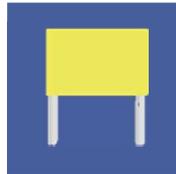
建築物の壁面に直接塗料等で広告内容を表示するもの、また耐久性のある材料で作成され、建築物の壁面に取り付けられるもの

#### 突出広告



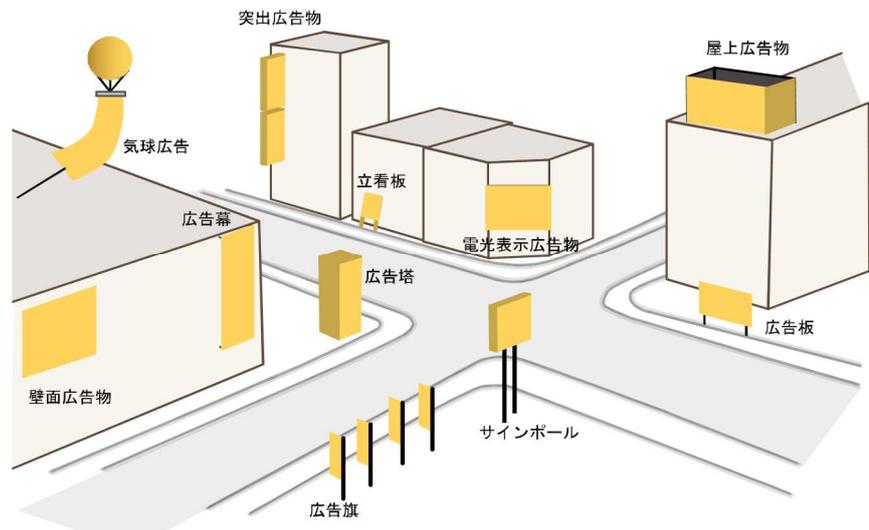
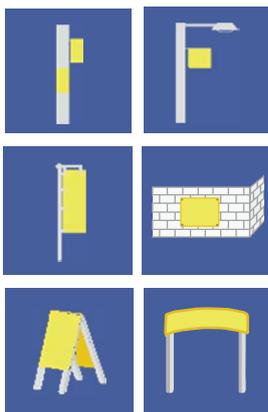
金属等の耐久性のある材料を使用して作成され、建築物の壁面から突き出して取り付けられるもの

#### 野立広告



サインポール、広告板、広告塔など土地に建植され、または建造物その他の物件を利用して取り付けられるもの

#### その他広告



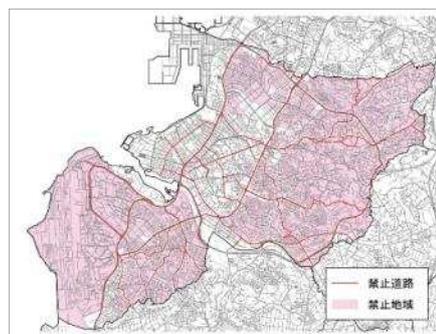
## ■屋外広告物制度

那覇市内で屋外広告物を掲示する場合、事前に許可を受ける必要がある広告物であるか確認してください。那覇市屋外広告物条例において、掲示する地域や広告物の種類ごとに、大きさなどの許可基準が定められています。また、広告主および屋外広告業を営む事業者は、良好な景観を維持し、公衆に対して安全な広告物であるよう維持・管理する義務があります。

### ▼禁止地域と許可地域（那覇市屋外広告物ガイドライン P13～15）

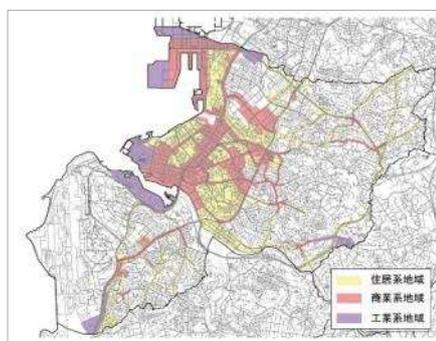
#### ■禁止地域

良好な景観の形成、風致維持の観点から屋外広告物の表示等を原則として禁止する地域です。ただし、社会生活を営む上で最小限必要な一定の屋外広告物については、適用の除外を受けることができます。



#### ■許可地域

禁止地域以外の地域で、屋外広告物を設置する際に市長の許可を受ける必要がある地域です。許可を受けるためには、その屋外広告物の大きさ・高さ等が表示等を行う地域の許可基準に適合していなければなりません。



基準の内容やその他那覇市の屋外広告物に関する情報は、那覇市都市計画課ホームページにてご確認いただけます。



詳しくはこちらをご覧ください

那覇市屋外広告物

検索

<http://www.city.naha.okinawa.jp/kakuka/tokei/okugai.html>



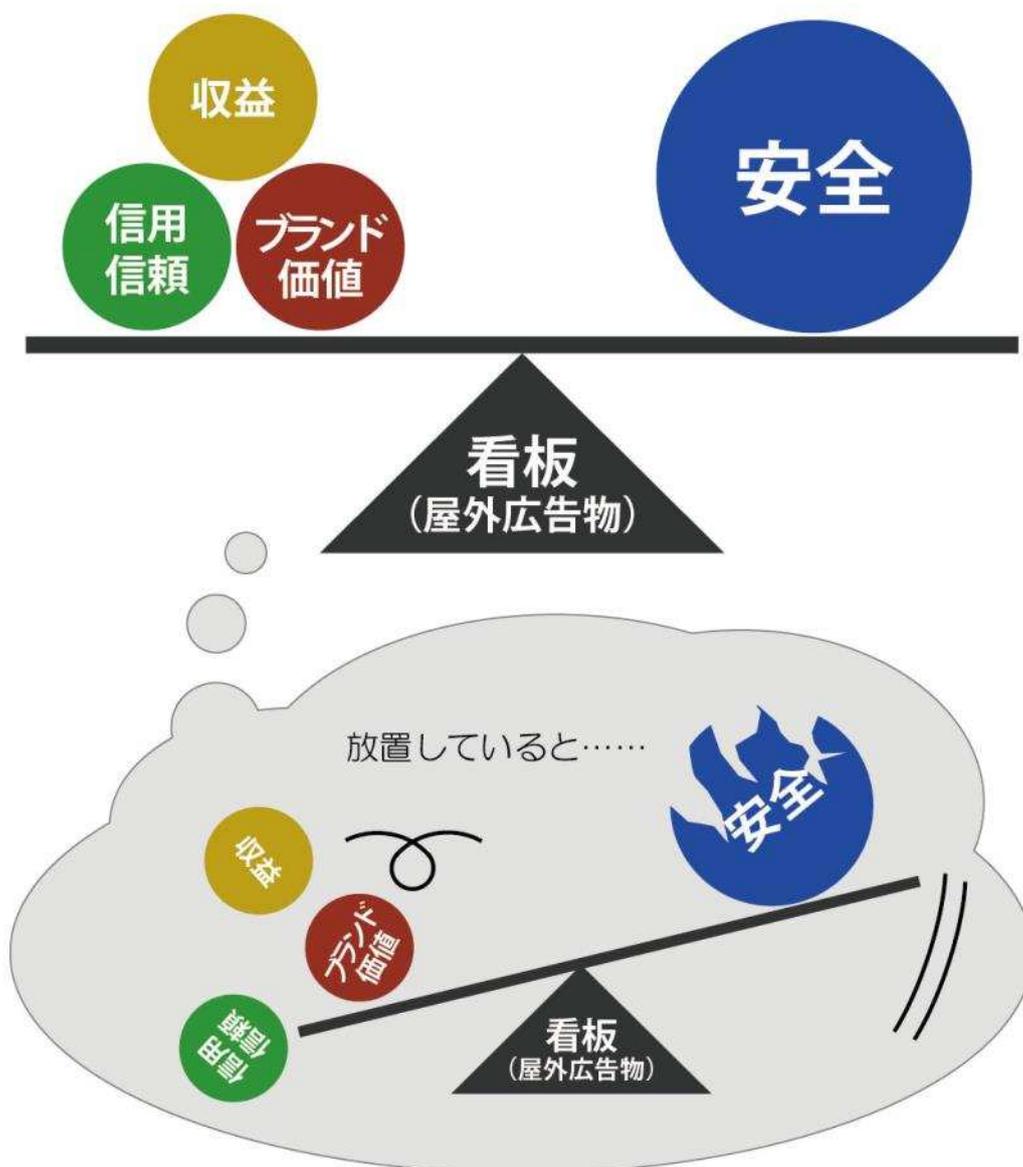
# 屋外広告物の安全性確保と維持管理

## 【看板は企業の顔】

屋外広告物は、人を導くための印となるだけでなく、経営理念やブランドメッセージを形にしたものであり、見る人に対して企業や店舗などのイメージを強く印象付けるものでもあるため、「企業の顔」と言われることがあります。

企業や店舗の製品やサービスの「信用・信頼」、「ブランド価値」、「収益」を背負っている屋外広告物にとって、最も重要となるのが「安全」です。屋外広告物は設置した後、定期的な点検やメンテナンスをしなければなりません。

屋外広告物の「安全」を軽視すると、企業イメージが低下するだけでなく最悪の場合、落下事故などにより、人にけがをさせてしまい責任を問われる可能性があります。



### 【屋外広告物の維持管理】

屋外広告物はその名の通り屋外に掲示されることから、変化する自然環境の中を長期間耐えるものでなくてはなりません。

特に、沖縄では常に強烈な陽光にさらされ、海風による塩害を受け、その上毎年台風を経験するという厳しい気候環境下にあるため、部材の腐食、ゆるみ、亀裂などが発生している可能性があります。

また、手入れをしなければ、汚れや色あせにより見えにくくなる、まちや通りの景観を損ねることにもつながります。



腐食して穴があいている状態



サビで汚れが出ている状態



色あせて見えにくくなっている状態

### 【定期的な点検】

日常的に意識して点検を行い、危険な兆候を見つけた場合は早めに信頼できる専門業者に連絡しましょう。定期的なメンテナンスは、広告主の安心と美観の維持、屋外広告物の効果を持続することにもつながります。定期点検については、3年毎の屋外広告物継続許可申請時などを目安に行いましょう。

#### ▼屋外広告物点検の主なチェックポイント

##### 【建物を利用した広告物】

- 広告物の変形、ズレ、破損などがないか
- ボルトやビスなどの取付金具にゆるみがないか
- 壁面にサビなどの汚れはついていないか
- 付属する照明器具の腐食、ゆるみ、破損などがないか
- 色あせて景観を損ねていないか

##### 【独立した広告物】

- 歩道や道路にはみ出し、通行の妨げとなっていないか
- 広告物の変形、ズレ、破損などがないか
- ポールの根元、看板本体とポールの接合部にサビが出ていないか
- 基礎部分のひび割れがないか
- 付属する照明器具の腐食、ゆるみ、破損などがないか
- 色あせて景観を損ねていないか

屋外広告物適正化推進委員会「オーナーさんのための看板の安全管理ガイドブック」参考

# より良い広告物とするために

## 周辺景観や建物と調和した色彩への配慮

### ① 周辺景観との調和

地域や通りの景観に調和した広告物は、地域や通りの魅力を高めます。地域や通りの特色・雰囲気にあった色彩の広告を計画しましょう。



幹線道路沿線における広告物の色彩は、色数などを控え、都市のイメージとあった配色を心掛けましょう

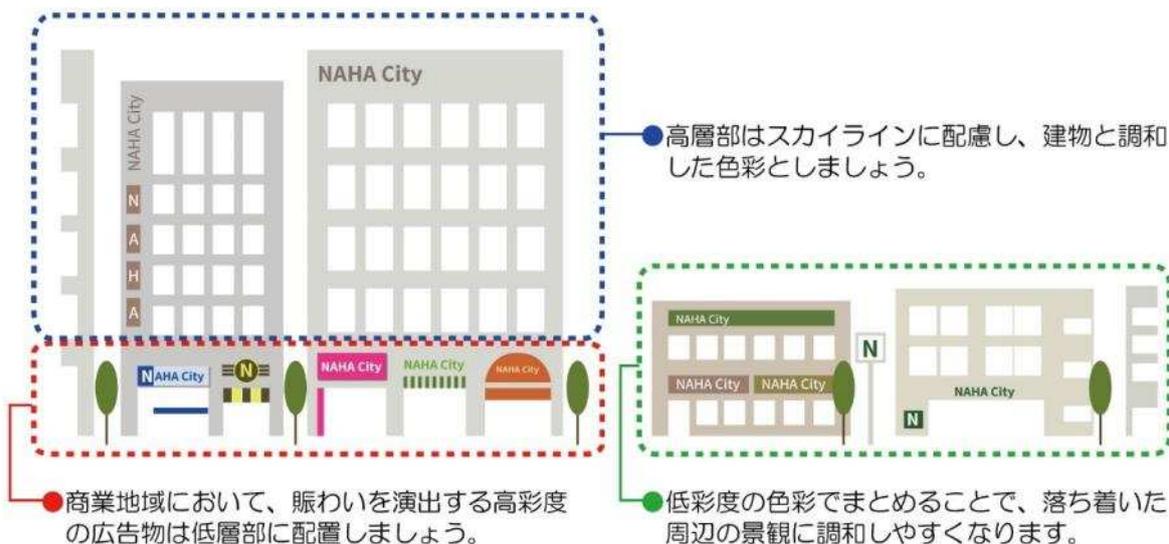


歴史や文化が色濃く残る街並みにおける広告物の色彩は、歴史を感じさせる落ち着いた色彩や自然素材を活かした色使いを心掛けましょう



店舗が連なり賑わいをみせる商業系地域における広告物の色彩は、建物の用途やデザインに相応しい色使いを心掛けましょう

### 【色彩を使い分ける】

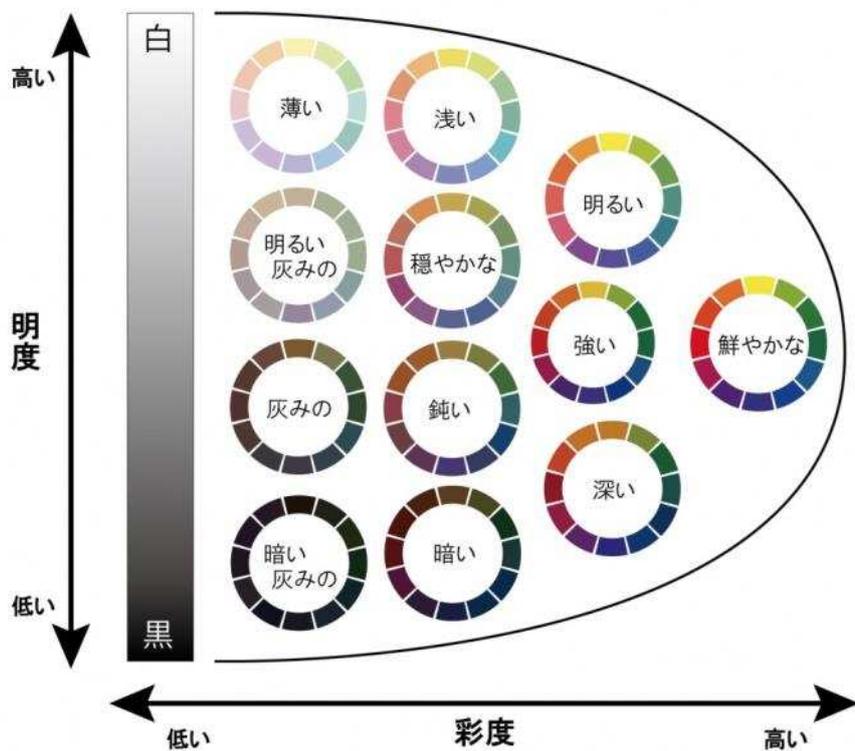


## 色彩の基本

### ■色彩の三属性

色相	「色合い」赤、青、黄などの色みを指す。
明度	「明るさ」1～10の段階で表示し、数字が大きいほど明るくなる（白に近づく）。
彩度	「鮮やかさ」数字が大きいほどあざやかで、色味が強い。 白、灰色、黒（無彩色）には色味がないので、彩度もない。

### ■色彩のトーン（色のイメージ）



### 【落ち着いた景観に配慮した色彩】

落ち着いた景観には、彩度の低い色を用いることで馴染みやすくなります。  
彩度を低くしても、地と文字の色に明度差があれば視認性を確保することができます。



コーポレートカラー  
(高彩度)



賑わいを形成する都市部に対応した屋外広告物



周辺景観に合わせた配色  
(低彩度)



都市景観形成地域においては、コーポレートカラーの彩度を下げることで、落ち着いた景観と調和している



コーポレートカラー  
(高彩度)



賑わいを形成する都市部に対応した屋外広告物



周辺景観に合わせた配色  
(低彩度)



都市景観形成地域において、コーポレートカラーを用いず、切り文字に赤瓦の類似色を使用することで周辺景観との調和を図っている

### 【彩度の高い色を使用する際の工夫】

高彩度の色を大面積で使用する場合は、周囲の景観を煩雑にする場合があります。地の色と文字の色を反転し、高彩色の使用面積を小さくすることにより、周辺景観と調和しやすくなります。



### ② 建物デザインとの調和

広告物のデザインや色彩を建築物のデザインに調和させると、見やすく効果的な広告物となります。広告物の地色や文字の大きさ、配置等は建物の色やデザインを意識して計画しましょう。



形状や色を揃えることで、建物と調和した広告物となっている

## 情報の整理

### ① 掲載内容（情報量）の整理

掲載内容は、伝えたい事項の優先度が高いものに絞ることで、伝わりやすい効果的な広告となります。



### ② メイン情報とサブ情報の整理

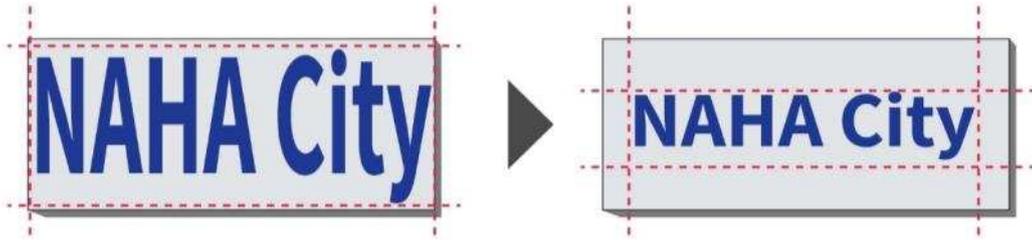
情報量を整理し、メイン情報とサブ情報に分割することで、見る人の視線を引き込み、メリハリのある分かりやすい広告物となります。更に、図や文字の大きさに変化を与えることも効果的です。



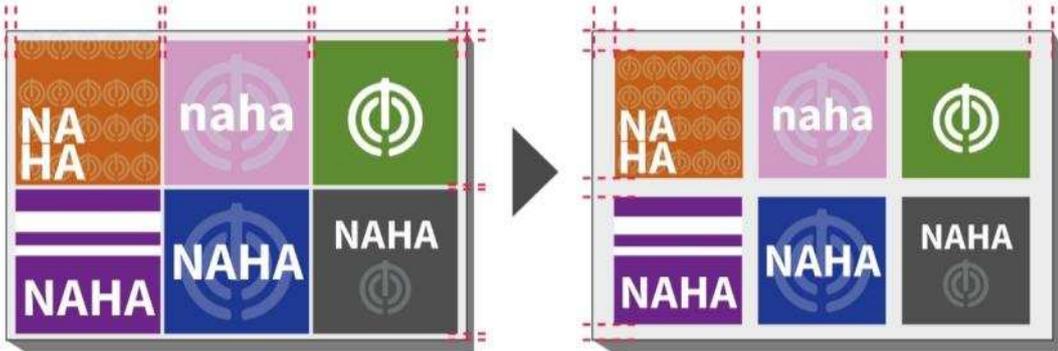
掲載内容が整理されており、且つメイン情報とサブ情報の区別があるため、分かりやすい広告となっている

## 余白の確保

文字や図などの構成要素を配置する際、意図的に適切な余白を設けることで、見る人の目を広告内容に引き付ける効果がある他、建物の外壁などの背景と調和しやすくなります。



集合広告などは、適度な間隔を確保することで、それぞれの広告が引き立ち、より効果的になります。



文字上部に余白を設けることで、見る人の意識を店舗のファサードに引き付けている



適度な余白を設けることで、すっきりと分かりやすい広告となっている。



## 種別デザインマニュアル

1. 屋上広告
2. 壁面広告
3. 突出広告
4. 野立広告
5. その他広告





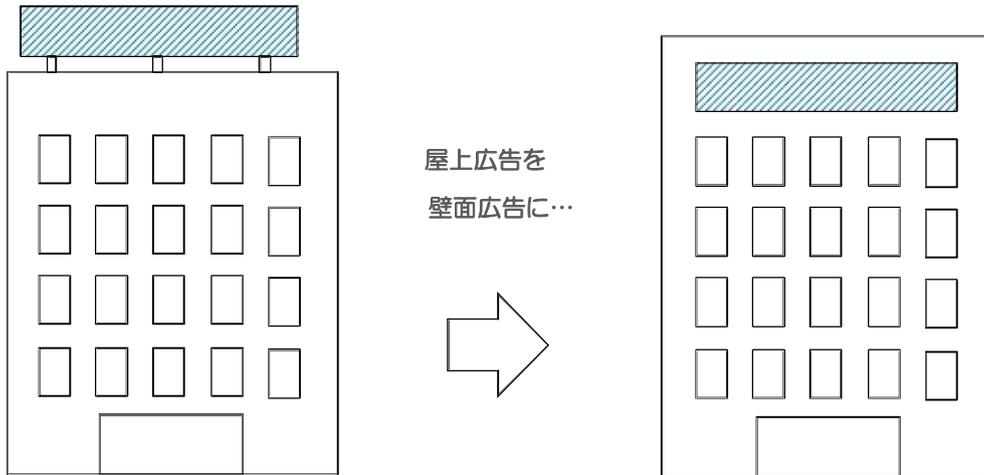
# 1. 屋上広告

■揃える ■控える

## デザインの Point

- ◆ 建築物の設計時に、広告物の大きさや配置を想定して計画しましょう。
- ◆ 屋上広告は建物のスカイラインを乱しやすいため設置を控え、切り文字を用いて壁面上部に掲示するなどの工夫をしましょう。
- ◆ 屋上広告を設置する場合は、建物の色や形状と統一を図りましょう。

高所に設置する広告物は景観に与える影響が大きくなります。スカイラインを乱さないよう、壁面の上部を活用して設置することも検討してみましょう。



### ▼ 壁面上部に掲示し、屋上広告と同等の効果を発揮している例 ▼



壁面上部に掲示することで、屋上広告と同等の効果を発揮し、建物全体のデザインを乱すことなくスッキリと見せている



## 揃える（建物の色・形）

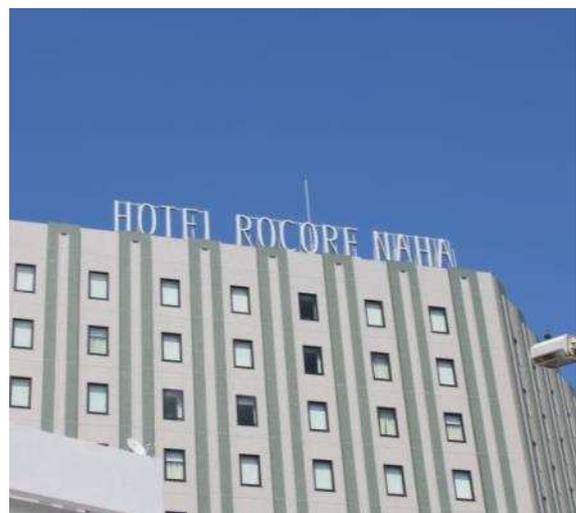
広告物を建物の色彩に合った配色とすることや、建物の形状と揃えることで、建物と一体感のあるデザインとなり美しい印象を与えます。



広告物を建物カラーや形状に合わせたことにより、まとまりが感じられ、建物のデザインを損ねることなく美しく見せている

## 控える

高所に設置する屋上広告は、建物のデザインや街の景観に影響を与えるため、突出した印象を与えないよう、切り文字を使用するなど、広告物と建物のデザインを調和させる工夫をしましょう。



切り文字看板とすることで、建物のデザインやスカイラインに配慮した屋上広告となっている

屋上広告は、広告面が大きく遠いところから見る事ができるため、景観に与える影響も大きくなります。また、建物のデザインを損ねる場合もあることから、大規模で高い位置へ設置する屋上広告は周囲の景観と調和したデザインを心掛けましょう。

## 2. 壁面広告

■揃える ■添える ■控える

### デザインのPoint

- ◆ 建物デザインに配慮し、建物と一体となったデザインとしましょう。
- ◆ 複数の広告を掲示する際は、集合化を図り、位置や大きさを揃えましょう。
- ◆ 店舗が並ぶ通りでは位置や、大きさ、形態を揃えるなど、街並みに配慮しましょう。



加工写真

### もしもデザイン

もしも、面状の広告物だったら・・・

面状で建物の色彩に調和しない広告物は、広告物だけが目立ってしまい、店舗の雰囲気や周囲の景観や雰囲気に煩雑感を与える場合があります。

切り文字にすることで  
建物に調和しやすくなる！



建物の壁面を利用した切り文字広告とすることで、建物自体のデザインを活かして掲示することができます。また、明度差をつけると、表示面は小さくても視認性が高くなり、分かりやすい広告となります。



## 揃える（位置・大きさ）

複数の広告物を掲示する際は、位置や大きさを揃えることで建物のデザインと調和しやすくなります。更に、形や色彩に規則性があるとリズム感が生まれ、見やすい広告となります。



集合化を図ることで見やすい広告となっている



建物の設計段階で広告物スペースがあらかじめ計画されている



位置と大きさを揃え、広告間に設けられた適度な余白が、リズム感を生み出している

那覇市の  
景観ビジョン

デザインマニュアル  
シリーズについて

序  
章

屋外広告物の安全性  
確保と維持管理

より良い広告物  
とするために

屋上広告

壁面広告

種別デザインマニュアル  
突出広告

野立広告

その他広告

活用  
編



## 揃える（建物の形）

面状の平看板は建物とのバランスを見て、設置面の形状に合わせた高さや幅に揃えることで、後付け感や突出した印象を抑えられます。



広告物を建物の形状に合わせ、バランスや色彩を揃えているため、一体的なデザインとなっている



広告物を建物の形状（間口）に合わせることで、後付け感が抑えられている



## 添える

切り文字を使用することで建物自体のデザインを崩すことなく掲示できるため、すっきりとした印象を与えます。また、建物や街並みに対してのアクセントとなり、より効果的な広告となります。



切り文字広告と壁面、緑が一体となり、建物のファサード全体が通りの魅力をアップさせるデザインとなっている



背景色に対して明度差の大きい色を切り文字に使用していることで、視認性の高い広告となっている



那覇市の  
景観ビジョン

デザインマニアル  
シリーズについて

序  
章

屋外広告物の安全性  
確保と維持管理

より良い広告物  
とするために

屋上広告

壁面広告

種別デザインマニアル

突出広告

野立広告

その他広告

活用  
編



## 壁面広告

那覇市の  
景観ビジョン

デザインマニアル  
シリーズについて

序  
章

屋外広告物の安全性  
確保と維持管理

より良い広告物  
とするために

屋上広告

壁面広告

種別デザインマニアル  
突出広告

野立広告

その他広告

活用  
編



シンプルにデザインされた切り文字広告は、外壁の色や風合い、照明との取り合わせも良く、目を引く広告となっている



切り文字広告としたことで建物のデザインを崩すことなくバランスよく掲示されている



切り文字の大きさとデザインが、建物や店舗の雰囲気と調和し、味わいと存在感のある広告となっている



## 控える（情報）

伝えたい内容を絞り、掲載する情報を控えることで、見やすく伝わりやすい広告となります。また、文字情報ではなくイラストやロゴマーク等を活用することも効果的です。



イラストやマーク等で表現することにより一目で分かりやすい広告となっている



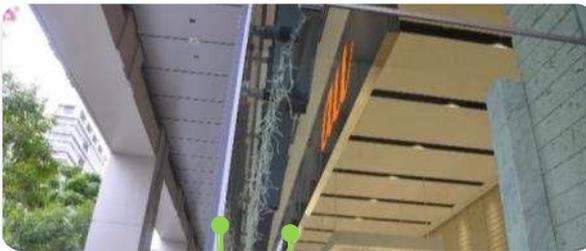
企業や店舗のロゴマークを活用することにより、情報量が整理され、短時間で理解しやすい広告となっている

## 広告物コラム

### 屋内から景観へのおもいやり



直接窓面に貼るのではなく、窓ガラスと広告の間に空間を設けることで、周辺の景観に配慮した広告となっている



窓ガラスと広告の間の空間

建物の内側から屋外に向けて掲示される広告物は屋外広告ではありませんが、窓面との距離を適正に保ち、照明を上手く活用するなど工夫することで、景観に配慮しながら企業イメージを伝えることができます。

その反面、窓ガラスに直接貼り付けてしまうと、周辺景観への影響が大きく、通りの雰囲気損ねる場合があります。

室内から屋外へ向けて掲示する広告物についても、大きさや色彩、設置位置等に配慮しましょう。

建物の低層部に設置した魅力的な壁面広告は、通りを歩く人の目に留まりやすく、通りに賑わいを与える効果があります。同時に、街並みを構成する大きな要素となることから、通りに合ったデザインや周辺景観との調和が重要です。





## 掲げる

突出広告は、沿道景観に影響を与えやすいことから、建物と一体となったデザインとし、色彩や素材を工夫することで魅力的な広告となります。



広告の色に壁面と同系色の茶系を使用したことで、建物ファサードと一体感のあるデザインとなっている



素材や形状を工夫することにより、存在感のある広告となり店舗の魅力を高めている

## 揃える（大きさ・配置）

突出広告を複数設置する場合は、大きさや配置を揃えることで、統一感のある分かりやすい広告となります。



色彩やデザインを揃えているため、統一感があり見やすい広告となっている



あらかじめ建築物の袖壁と広告を一体的に計画することで、建築のデザインと調和した広告となっている

突出広告は、人や車で賑わう沿道の建築物に設置することから、色や大きさを揃えるなど、見る人にとって分かりやすいデザインを心掛けましょう。

那覇市の  
景観ビジョン

デザインマニアル  
シリーズについて

序  
章

屋外広告物の安全性  
確保と維持管理

より良い広告物  
とするために

屋上広告

壁面広告

突出広告

野立広告

その他広告

活  
用  
編

## 4. 野立広告

■揃える ■集める ■緑との組み合わせ

### デザインの Point

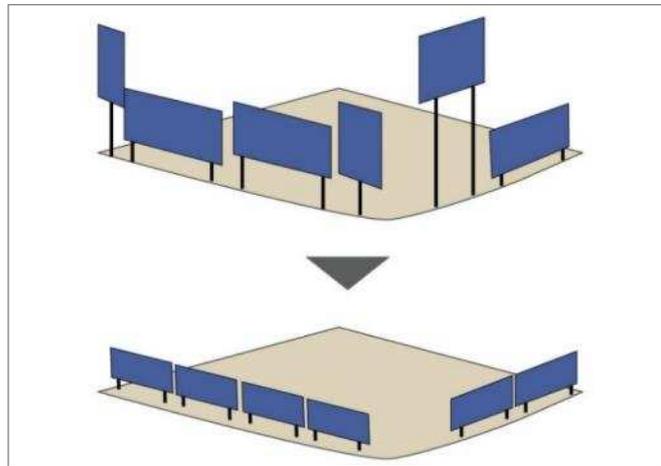
- ◆ 複数の広告が集合または隣接する場合、大きさや配置を揃えましょう。
- ◆ 集約化させ、必要最低限の設置数としましょう。
- ◆ 緑との組み合わせによる誘目性を活用し、周辺景観に与える影響を抑える工夫をしましょう。

### 揃える

複数の広告が集合、隣接する場合は大きさや配置を揃えることで、統一感があり見やすい広告となります。



フレームの色彩や幅が統一されていることから、見やすい広告となっている



大きさや配置を揃えることで煩雑な印象を抑えることができる

### 集める

複数店舗が入居するビルの野立広告は、一つにまとめることで、煩雑な印象を抑え、見る人にとっても分かりやすい広告となります。



広告物の地色や文字等の色数を抑え、シンプルにまとめられていることから、分かりやすく見やすい広告となっている

## 緑との組み合わせ

緑と組み合わせることにより、見る人の目を引き付けます。また、歩行者にとって快適な空間を提供することで企業や店舗のイメージアップにもつながります。



歩道沿いに設けられた緑化スペースが、良好な歩行者空間をつくりだし、広告物を引き立たせる効果も発揮している



緑と組み合わせることにより、見る人の目を引き付ける広告となっている



野立広告は、人や車で賑わう沿道に設置されることから、ある程度離れた位置からでも認識されやすい広告物となり、沿道景観への影響が大きくなります。緑と組み合わせたり、複数の広告物は形状や色彩を揃えたりするなどの工夫をすることで、魅力的な広告となり店舗のイメージアップにもつながります。

## 5. その他広告



### 街灯柱を利用する広告（バナー広告）

街灯柱などに吊り下げるバナー広告は、通りの景観への影響が大きいことから、情報発信だけを目的とせず、通り全体で統一感のあるデザインとすると共に、通りの活気や賑わいづくりに配慮したデザインとしましょう。



配色や形状に共通性を持たせることで、リズム感を生み出し、通りの賑わいを創出しているバナー広告となっている

【出典: Signs(一般社団法人 日本屋外広告業団体連合会)より】

### 広告旗（旗、のぼり等）

広告旗は、イベント等で、通りの活気や賑わいづくりのために活用されます。しかし、周辺景観への影響が大きいことから、色彩に共通性を持たせる、設置の間隔を統一するなど、通り全体で統一感のあるデザインとなるよう心掛けましょう。



通りのイメージを象徴するような配色、統一されたデザインであることから、賑わいを生み出し、来訪者を導く役割も果たしている

【イメージ写真: 壺屋やちむん通り VR(バーチャルリアリティ)より】

## 活用編

### 賑わいを演出する

商業地域において、高彩度の広告物は歩行者の視界に入る低層階に設置することで賑わいを演出します。また、店前のファサードや装飾品と雰囲気合わせたデザインとするなど、広告物を効果的に活用し、地域や通りの魅力を高めましょう。



広告物を建物の形状に合わせ、また低層階で高彩色を効果的に使用することで、通りの賑わいを演出している



演色照明を効果的に活用することで、通りの賑わいを演出する広告となっている

那覇市の  
景観ビジョン

デザインマニアル  
シリーズにおいて

序  
章

屋外広告物の安全性  
確保と維持管理

より良い広告物  
とするために

屋上広告

壁面広告

突出広告  
種別デザインマニアル

野立広告

その他広告

活  
用  
編

## 素材を活かす

木などの自然素材を活用することで、落ち着き・伝統・風格などが醸し出されます。歴史的地域では、赤瓦や琉球石灰岩などの素材と調和させることで、趣のある広告物となります。



木材を活かしたぬくもりが感じられる広告



琉球石灰岩に切り文字を合わせた風格のある壁面広告となっている



赤瓦と木製の壁面広告、のれんの雰囲気マッチして、歴史性のある地域の風格を醸し出している



## 広告物コラム

## 店前や通りの魅力づくり



ちょうちん  
のれんや提灯を活用した広告により、店舗の印象を向上させている



ベンチや植栽が店舗の魅力を高めている



オーニング(日よけ)や窓面を広告として活用し、ベンチを置くことで店舗の魅力を高めている



商品そのものが広告となり、通りの魅力を高めている

店舗の広告機能としては、屋外広告物だけではなく、のれんやベンチなどのアイテムや、壁面の色、オーニング(日よけ)、または商品自体が広告の効果を発揮する場合があります。店前の“ベンチ”や“植栽”などのアイテムは、通りを歩く人に潤いや安らぎ感を与え、宣伝効果だけでなく、店舗や通りの印象向上にもつながります。

広告物以外のアイテムも活用して、店前や通りの魅力アップにつながる広告のあり方を考えてみましょう。

那覇市建築デザインマニュアル・サインデザインマニュアル改定検討委員会  
委員名簿

	委員氏名	所属・役職
1	都市 デザイン アドバイザー	赤嶺 雅 那覇市都市デザインアドバイザー 沖縄県立芸術大学 美術工芸学部デザイン工芸学科 教授
2		慶佐次 操 那覇市都市デザインアドバイザー 有限会社 名工企画設計 代表取締役
3		島田 宏光 那覇市都市デザインアドバイザー 有限会社 島田ランドスケープ 代表取締役
4		波多野 想 那覇市都市デザインアドバイザー 琉球大学 観光産業科学部 准教授
5		宮城 敏明 那覇市都市デザインアドバイザー 株式会社 沖縄建設技研 常務取締役
6	関 係 団 体	永吉 英 沖縄県広告美術協同組合 理事長 有限会社 エーツーサイン 代表取締役
7		赤嶺 竜司 沖縄県広告美術協同組合 専務理事 株式会社 昭和制作 代表取締役
8		池間 守 一般社団法人 沖縄県建築士事務所協会 副会長 株式会社 エー・アール・ジー 代表取締役社長
9		金城 傑 公益社団法人 沖縄県建築士会 副会長 有限会社 K・でざいん 代表取締役社長
10	當間 卓 公益社団法人 日本建築家協会 沖縄支部 支部長 株式会社 泉設計 代表取締役社長	
11	都市 計画	前原 信達 株式会社 都市科学政策研究所 上席研究員 前那覇市都市景観審議会委員
12	カラー	中島 明美 有限会社デザインワークスオンリーワン 代表取締役 沖縄都市モルールビジュアルデザイン検討委員会委員

**※那覇市サインデザインマニュアルの事例写真について**

那覇市サインデザインマニュアルで使用している事例写真については、那覇市内の事例を主としていますが、より良い事例を紹介するため、県内外の他市町村等の事例を一部活用しております。



那覇市サインデザインマニュアル

平成 3 年 3 月策定

平成 29 年 3 月改定

那覇市